第3回健康ウォーク

主催　中鴻池リージョンセンター企画運営委員会
東大阪市中保健センター

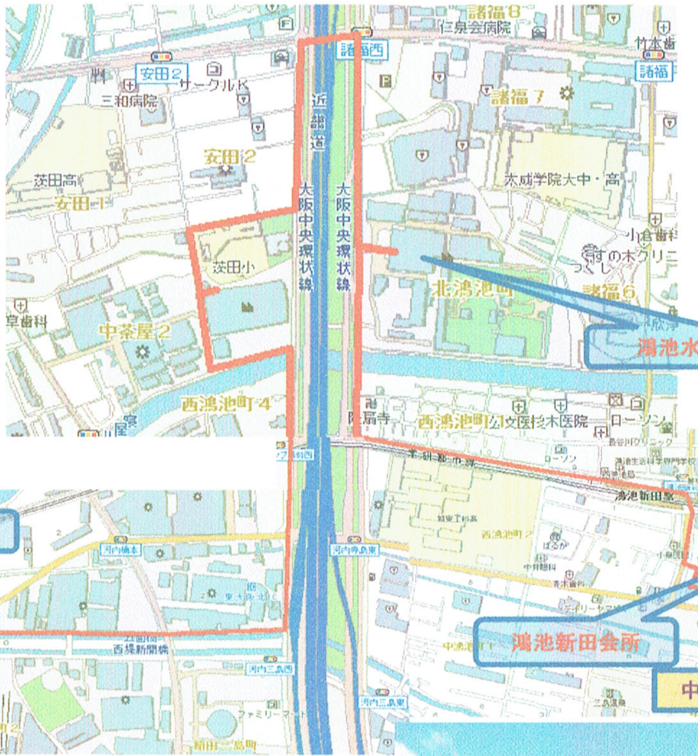
コースのあらまし

国史跡・重要文化財の鴻池新田会所を学芸員さんからの説明付きで見学し、次に江戸時代の建物から現在の生活に欠かせない下水処理施設の鴻池水みらいセンターを見学。
そして江戸時代の排水路であった井路沿いに歩き当時の交通の要所で、野崎まいり等で賑った「徳庵船着き場跡」につきます。趣のある徳庵駅の商店街の中を通り「稲田の道標」を見て観音禅寺に着きます。
さらに南東に行き「旧菱江川の親柱」の前を通り、樹齢500年の銀杏の古木で有名な稲田八幡宮を経て、高井田中央駅まで約7kmのコースです。

淀川大洪水記念碑（よどがわだいこうずいきねんひ）

鴻池徳庵町7

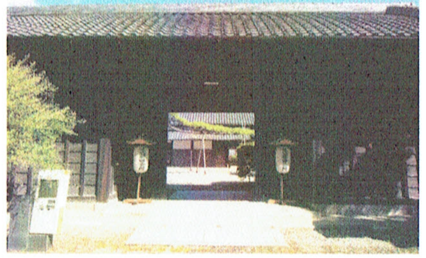
明治18年に茨田郡伊加賀村(現枚方市)で淀川の堤防が決壊し、中河内一帯の50余村に水禍が襲い、その様子を刻まれた高さ2．15mの花崗岩の碑



鴻池水みらいセンター（こうのいけみずみらいせんたー）

北鴻池町1－18

大阪府の施設で寝屋川流域の下水処理を行っている。屋上にはグランドゴルフも出来るスカイランドがある。



鴻池新田会所（こうのいけしんでんかいしょ）

鴻池元町2－30

大和川付替えによって出来たのが鴻池新田で、その管理のための事務所として鴻池新田会所が造られました。本屋は会所の中心建物で、保存修理により嘉永6年(1853)の姿に復元されています。建物内は広い土間があります。屋敷蔵は、本屋の北に接続する延享3年(1746)の建築。文書蔵は本屋の西側にあり、天明6年(1786)に棟上げされました。共に2階建ての土蔵です。

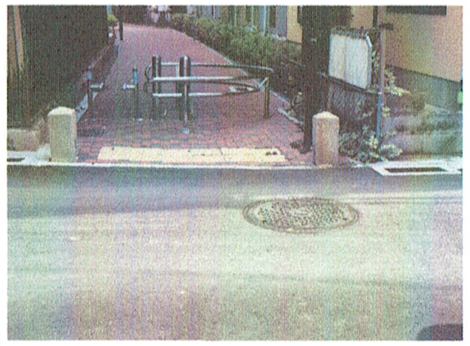
観音禅寺（かんのんぜんじ）　稲田本町3－27－12

曹洞宗の寺で14世紀後半に妙心寺二世授翁宗弼禅師と大内義弘とで建立されました。当時は大伽藍であったが焼失している。大松の根本より掘り出した聖観音菩薩を本尊し、1648年に再興。元禄3年の銘がある梵鐘が当時からの鐘桜門に吊り下げられている。

稲田の道標（いなだのみちしるべ）

稲田本町3

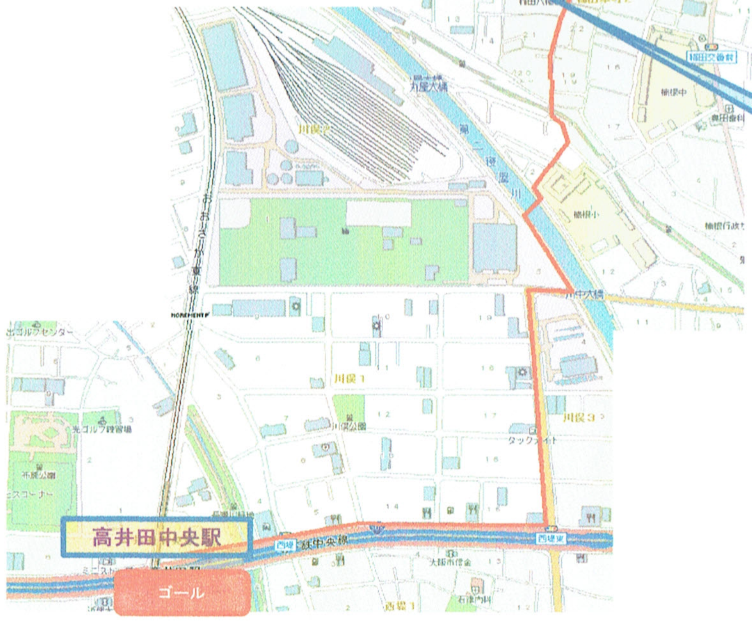
旧稲田村を通る旧道角に、高さ約2．4mの大きな道標が残されています。JR学園都市線(旧片町線)開通後の明治32年に建てられたもので南面には「左　京徳庵きしゃ道」西面には「右　八尾瓢箪山道」と彫られている



旧菱江川の親柱（きゅうひしえかわのおやばしら）

稲田本町3－25

旧菱江川に架けられていた石橋の親柱が4本少し埋もれて残っています。北西の柱には「大和橋」、南東には「仙人橋」と彫られています



稲田八幡宮（いなだはちまんぐう）

稲田本町2－24－36

古市の誉田八幡宮より八幡神が勧進され稲田八幡宮が祭られるようになりました。この八幡宮には、仲哀天皇、応神天皇、神功天皇が祭られています。
境内には市の天然記念物に指定されている樹齢500年の銀杏の古木があります。